



〒516-0015 伊勢市久世戸町96  
本誓寺  
電話 0596-28-6905  
FAX 0596-28-6906

拝啓

晩春の候、檀信徒の皆様には益々ご清祥のことと慶び申しあげます。  
お釈迦様のお誕生日を祝う『花祭り法要』と『開宗八百五十年記念法要』を  
実施いたします。奮ってご参加ください。

合掌

花祭り法要(永代経供養)・開宗八百五十年記念法要併修

一、実施日

令和六年五月十九日(日)  
午前九時集合

九時二十分

十時 お説教

十一時 永代経供養

十二時 解散

西林寺 村上真孝上人

一〇〇〇円 ※当日受け賜ります。

一、費用

一、説教師

一、出欠

同封の返信用ハガキにて  
お申込みをお願いします。

当日のご用意について

※数珠は必ず  
お持ちください

※お袈裟をお持ちの  
方はご持参ください

※普段着で  
お越しください

※お経の本はお寺にて  
ご用意します。

※お経の本はお寺にて  
ご用意します。

※お経の本はお寺にて  
ご用意します。

※お経の本はお寺にて  
ご用意します。



四月八日 灌仏会 (花祭り)

お釈迦様が、ルンビニーの花  
園でお生まれになった日です。  
生まれてすぐに、7歩進んで  
右手で天を指し、左手で地を指  
して、「天上天下唯我独尊」(てん  
じょうてんげゆいがどくそん)と言われ、龍  
王が甘露の雨を降らせて祝福し  
たと伝えられています。  
この故事になぞらえて、色と  
りどりの花を美しく飾った花御  
堂に、天と地を指す誕生仏をま  
つり、甘茶をかけて誕生を祝う  
行事が行われます。

檀信徒の皆様へのお願い  
通年5回(春秋彼岸会・盆施餓鬼会等)、  
本誓寺行年のご案内と返信を頂く  
お申し込みがございます。  
返信用封筒以外で、お寺にお持ち込みされる  
皆様には、極力住職もしくは寺庭婦人に  
手渡し頂きますようお願い申し上げます。

月かげのいたらぬさとはなけれども  
ながむる人の心にぞすむ



3月17日春季彼岸大施餓鬼会を  
厳修いたしました。  
世話人・女人講のご協力で盛大に厳修され、  
檀信徒の皆様にお参りを頂きました。



本年度は、宗祖法然上人が浄土宗を開かれてから、八百五十年を迎えます。  
法然上人の父の遺言「誰も救われる御仏の教えを学び、菩提を弔って欲しい」の言葉を受け、十五歳で比叡山延暦寺にて、最初の師 源光様から学び、比叡山黒谷の叡(えい)くう様の教えを請い、名を法然房源空と改めます。  
様々な高僧に教えを受けるため奈良へ行かれ、煩惱(ぼんのう)「迷いの心」をなくし、誰もが救われる方法を勉強されるも、教えてくださる方もなく、嘆きながら黒谷経蔵にて一切経(いっさいききょう)「全ての経文」を何遍も学んでおられました。  
ある夜、観経疏(かんぎんしよ)「一節」一心専念(いっしんせんねん)「ある夜、観経疏(かんぎんしよ)のしよの一節」一心専念(いっしんせんねん) 弥陀名号(みだみょうごう) 行住坐臥(ぎょうじゅうざが)「不問時節(ふもんじせつ) 念念不捨(ねんねんふしやしゃ) 是名正定之業(ぜみようしようじょうしごう) 順彼佛願故(じゅんびふつがんこ)の文字が金色(こんじき)に光ったと伝記に記されています。  
『いつ、いかなる時でも、一心に、南無阿弥陀仏を唱える。毎日繰り返していく事が、極楽往生を叶える確かな修行となる。阿弥陀仏の願いに、ほかならないのだから』この御文(ごぶん)にて全ての行を捨て、念佛一行の行者となり、知恵第一の法然房と、賛えられる身でありながら、一文不知の愚鈍の身になして、ただひたすら、阿弥陀仏に迷いの身を救っていただく、念佛行者となられたのであります。  
時に承安五年(一一七五年)春、弥生の時でありました。法然上人延暦寺から京都市内に行かれ、念佛教化されてから、八五〇年となりました。  
その念佛の灯を、本誓寺花祭り法会(ほうえ)にて、佛前に灯りをともし、教えの灯が今八五〇年続いていると心に受けとめ、皆様と共に、本誓寺において念佛したく存じます。